

# 安藤克行新社長に聞く商品展開と今後の方針

## 上期は孤独死の保険に注力

### アイアル少額短期保険



安藤氏

アイアル少額短期保険(以下、アイアル少短)では4月1日、安藤克行氏が新社長に就任した。アイアル少短は、学総とライオ少短の2社が昨年合併して社名変更した少額短期保険会社で、医療、家財、傷害分野に強みを持つ。昨年は、賃貸住宅のオーナーのために孤独死の保険「無縁社会のお守り」を発売。マスコミの評判もあり、全国の管理会社などから引き合いも多かった。大手保険会社にはない商品開発に取り組むアイアル少短の今年度の方針について安藤氏に話してもらった。

昨年2月1日の合併から約1年が経ち、今回、新社長となったことで重要な責任を感じている。少短業界は現在、約70社ある中で保険会社になる動きや、一方で統廃合の可なり、それだけに失敗は許さず、一方で大変な時期を迎えている。そうした中で、しっかりと少額短期保険業を消費者に認知してもらおうためには、基盤の安定と新たなチャレンジ

の安定と新たなチャレンジ。新年度の方針としては第一に、昨年来、反響が大きかった孤独死の保険「無縁社会のお守り」をしっかりとフォローして

客が比較的理解しているが、孤独死の保険の問題から説明しなければならぬ。それだけに顧客に必要性を理解してもらえれば、商品は後から付いてくる。

孤独死の保険は新たなジャンルの商品であり、販売したいという賃貸住宅の管理会社が多く、また、オーナーにも興味を持っていただいている。こうした保険があることで、実際にオーナーの安心感につながっている。われわれは、保険金をお支払いする使命もあるが、オーナーの悩みに応

育っていく。商品を開発した際には中途半端になる。開発当事者がトップとなったことで、上期はこの保険に経営資源を集中していく考えだ。孤独死の保険では、遺品整理会社や特殊清掃会社にさまざまな話を聞き、周辺知識は誰にも負けない

と考えている。保険にしっかりと取り組む。もちろんだが、孤独死が発生した場合に遺品整理会社の紹介なども可能だ。対応方法を知らずに孤独死が発生するのは、事前に知っているのでは、その後の状況は大きく異なる。

現在、オーナーが孤独死を警戒するあまり、高齢者の入居を控える状況もあがる。孤独死の保険によってそうした不安をぬぐい去り、現状を変えたいと願っている。オーナーにもメリットがあり、これまで入居を断られていた高齢者にもメリットがあれば、この保険の社会的意義は大きい。

2階建ての発想でインターネットによる申し込みが好調なことを受けて、ウエブで申し込みが完結できる一般的な医療、家財、傷害保険を1階部分に、孤独死の保険やニッチな保険を2階部分として考えていきたい。1階なくして、しっかりとした経営は成り立たない。下支えとなる保険を持ちつつ、ニッチな商品開発も進めていく。不妊治療中でも加入できる医療保険も女性誌で紹介されて認知度が高まり、ウエブによるアクセスも増えている。2階建ての少短会社をイメージして、上期は1階と、2

階の孤独死の保険を安定させ、下期には新たな商品開発に取り組みしていきたい。

既存の保険では傷害保険の改定を検討している。傷害保険がインターネットで加入できるようにすれば、医療保険、家財保険がウエブでそろい、それをまとめる「お守り」サイトを立ち上げ、今後はこの8社を軸にして、新たなコラボを含めた小さなユニットをまとめることにしていきたい。

**Homai Web**  
 保険毎日新聞社のホームページ  
<http://www.homai.co.jp>

2011年版 休業損害と逸失利益算定の手引き 齋藤博明 共著 齋藤明仁  
 85判 232頁 定価 4,200円 (本体4,000円+税) 送料 340円  
 本書は、確定申告書類など、所得の裏付けとなる税務関係書類の実例を付し、確認しながら損害の査定実務を把握することができるようにした、ほかに類を見ない解りやすく平易にまとめた実務書です。2010年版の「法人役員の基準額算定」の項に加筆・修正を加え、新たに2011年版として刊行しました。●2012年版は本年6月刊行の予定です。  
 お申込は FAX または Web で FAX 03-3865-1431 <http://www.homai.co.jp/> 保険毎日新聞社 東京都千代田区岩本町1-4-7 TEL 03-3865-1401